

# ワークショップ実施報告

# 1. 校区ワークショップ実施概要

## 1. 実施目的(主)

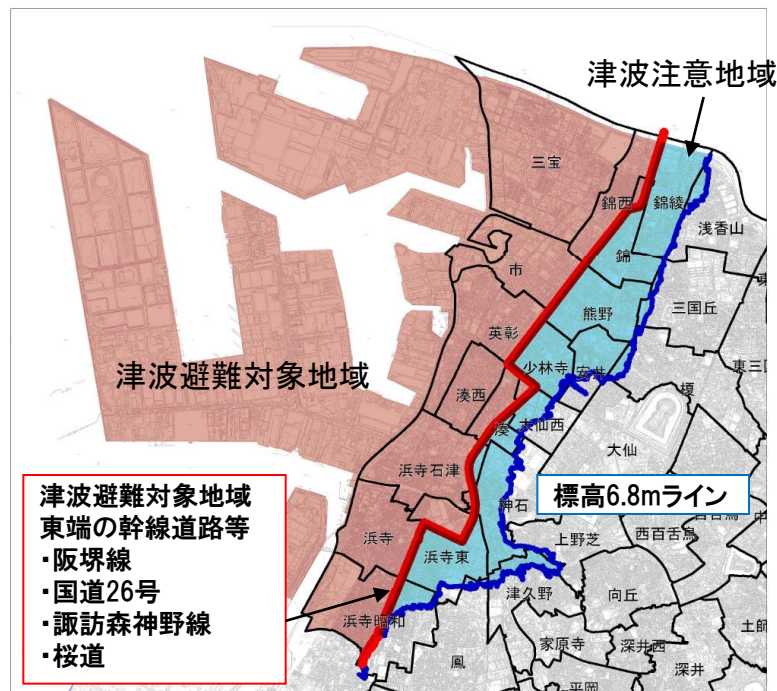
- 大阪府津波浸水想定結果や本市津波避難の基本方針等について情報共有し、津波発生時における迅速な避難を実現するため

## 2. 実施対象校区

避難対象地域、津波注意地域が含まれる

23校区で実施（堺区16校区、西区7校区）

	津波避難対象地域を含む校区	津波注意地域の校区
堺区 (16校区)	三宝、市、英彰 湊西、錦西(一部) 錦(一部)、湊(一部) 大仙西(一部) 少林寺、神石(一部)	錦綾、浅香山、 三国丘、熊野、 榎、安井、
西区 (7校区)	浜寺、浜寺石津(一部) 浜寺東(一部) 浜寺昭和(一部)	鳳、上野芝 津久野



## 2. 今年度のワークショップの特徴

### I. 長周期地震動の状況など、災害への理解を深める

- ・地震の揺れの程度、早期避難の難しさなどについて理解
- ・校区で決めた避難経路が地震発生後に利用できない場合もあることを理解

### II. 参加者の主体性を重視し、リーダーシップを高める

- ・ワークショップの運営を参加者に依頼し、災害時におけるリーダーシップや意見集約が重要性を改めて認識

### III. 校区が主体的に事業所、学校、要援護者施設等の参加を推進

- ・校区の実情に応じて、率先避難等協力事業所のほか、地域の呼びかけにより学校、幼稚園や保育園、福祉施設などの災害時要援護者施設からもワークショップに参加することで、共助による津波避難の重要性を参加者相互に認識

H23年度・24年度

東日本  
大震災

- ・津波避難ビルの検討
  - ・津波避難経路や要注意箇所の検討
- まずは自分の命を守るために**

H25年度

- ・避難経路や要注意箇所を再検討
  - ・災害発生時の状況理解やリスクの理解
  - ・迅速に避難するための事前準備の必要性を理解
- 地域一丸となった共助による避難も視野に**

迅速確実な  
自助共助  
による  
津波避難

# 3. ワークショップの実施内容

## I. 大阪府津波浸水想定結果及び市津波避難対策の方針説明

- ◆対象： 全校区
- ◆内容：
  - ・大阪府が公表した津波浸水想定結果の報告
  - ・津波浸水区域の確認
  - ・堺市津波避難対策の基本方針を説明

各班で班長を選任し、班長がワークショップを進行

## II. 迅速かつ確実に避難するための準備に関するワークショップ

- ◆対象： 全校区
  - ◆内容：
    - ・地震の揺れの長さや規模を理解(DVD)
    - ・明日南海トラフ巨大地震が起こると想定し、図上訓練を実施(写真等を使用)
    - ・地震や津波などの大規模災害に対する事前準備の必要性を検討
- ⇒予め避難経路や避難目標を把握することが迅速な避難につながる。

## III. 津波ハザードマップの作成

- ◆対象： 避難対象地域
- ◆内容：
  - ・避難目標、避難経路、要注意箇所の見直し
  - ・津波等率先事業所や災害時要援護者施設の位置確認、追加

# 4. ワークショップの実施結果

## I. 大阪府津波浸水想定結果及び市津波避難対策の方針説明

## II. 迅速かつ確実に避難するための準備に関するワークショップ

- ・ 地震の揺れの長さや余震から、すぐ避難することが容易ではないことを理解
- ・ 校区で検討した避難経路も家屋倒壊や車の渋滞等による閉塞の可能性を理解
- ・ 家屋の耐震化や家具の固定、実質的な非常持出品の準備やその保管場所の確認を理解
- ・ 避難経路や避難目標の事前確認の重要性を理解

## III. 津波ハザードマップの作成

- ・ 避難目標、避難経路、要注意箇所の見直し
- ・ 津波等率先事業所の位置の追加
- ・ 災害時要援護者施設の位置の追加や避難方法の検討
- ・ 津波ハザードマップの完成

